iBody

ハイスループット実験が拓く データ駆動型抗体設計

～エピトープ解析から親和性・特異性・安定性の最適化まで～

ZOOM ウェビナー開催

参加費 無料

開催日時 12/3(木)

16:00～17:00

※多少お時間が前後する可能性がございます。お時間に余裕をもってご参加をお願いいたします。

会場 オンライン開催（ZOOM ウェビナー形式）

タイムスケジュール

16:00～16:10...iBody 株式会社による技術紹介
16:10～16:45... 特別講演「ハイスループット実験が拓くデータ駆動型抗体設計」
16:45～16:55... 質疑応答

特別講演　16:10～16:45

抗体が抗原のどこに、どのような速度で結合・解離するかを理解し、親和性・特異性・安定性を最適化することは、抗体の研究開発と応用に重要である。本講演では、機能的エピトープ解析とデータ駆動型抗体設計を支えるハイスループット実験系について紹介する。



松長 遼 先生

2010 年、東京大学工学部卒業。2015 年、東京大学大学院新領域創成科学研究科メディカルゲノム専攻博士課程修了。同年より東レ株式会社に勤務し、2020 年より東京大学大学院工学系研究科バイオエンジニアリング専攻助教。現在に至る。

東京大学大学院工学系研究科
バイオエンジニアリング専攻 助教

運営お問合先

事務局　TEL：052-753-8654

iBody株式会社　〒464-0858 愛知県名古屋市千種区千種 2-22-8
名古屋医工連携インキュベータ 417

お申込 URL▼
https://x.gd/4HqwP